



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

平成30年7月18日(水)
国土交通省関東地方整備局
千葉港湾事務所

記者発表資料

平成29年度優良工事等の事務所長表彰について

国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所は、平成29年度に完了した工事及び業務の中で特に優れた成績を取めた工事等について、平成29年度事務所長表彰を下記により執り行います。

- 日 時 平成30年7月23日(月)10時30分～11時30分
- 場 所 千葉港湾合同庁舎 2階 会議室
- 表彰件数 優良工事・・・1件
優秀工事技術者・・・1名
優良業務・・・1件
優秀技術者・・・1名

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者会、千葉県政記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所

副所長 はせがわ せいじ
長谷川 清治

工務課長 いせ つとむ
伊勢 勉

電話 043-243-9172

FAX 043-243-1939

平成29年度優良工事等の表彰について

1. 概要

平成29年度に千葉港湾事務所で完成した工事等の中から、その施工への取り組みが優秀で他の模範となる工事等を選定し、当該企業及び技術者を表彰することにより建設における技術の向上及び円滑な事業推進に資することを目的とします。

2. 平成29年度優良工事[事務所長表彰]

【優良工事及び優秀工事技術者】

工事件名……………千葉港葛南中央地区岸壁(-10m)改良工事(その3)

企業名……………みらい建設工業(株)千葉営業支店

優秀工事技術者………現場代理人 柴 利幸

3. 工事の概要及び表彰理由(資料参照)

4. 平成29年度優良業務[事務所長表彰]

【優良業務及び優秀技術者】

業務件名……………東京湾浅場造成環境調査

企業名……………三洋テクノマリン(株)

優秀技術者……………管理技術者 吉川 勝志

5. 業務の概要及び表彰理由(資料参照)

6. 表彰式

表彰式は、優良工事受賞社、優秀工事技術者、優良業務受賞社、優秀技術者が出席し、事務所長から表彰状が授与されます。

7. 取材について

- ・当日の取材は可能です。
- ・カメラ撮り等は、式の進行の妨げにならないようにお願いします。
- ・当日、会場受付にて名刺をお渡しくださるよう、お願いします。

資 料

国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所
平成29年度優良工事の事務所長表彰について
記者発表資料(参考資料)

平成29年度

優良工事事務所長表彰

優秀工事技術者事務所長表彰

優良業務事務所長表彰

優秀技術者事務所長表彰

概要及び表彰理由

平成30年7月18日
国土交通省関東地方整備局
千葉港湾事務所

ふりがな 会社名	みらいけんせつこうぎょうかぶしがいしやちばえいぎょうしてん みらい建設工業株式会社千葉営業支店		
ふりがな 技術者名	しば としゆき 柴 利幸	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	ちばこうかつなんちゅうおうちくがんぺき かいりょうこうじ 千葉港葛南中央地区岸壁(-10m)改良工事(その3)		
工期	(自) 平成29年3月1日 (至) 平成29年10月31日		
事務所名	千葉港湾事務所		
工事概要	本工事は、千葉港葛南中央地区岸壁(-10m)の老朽化対策工の施工を行った。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、老朽化した葛南中央地区岸壁(-10m)の鋼管矢板について鉄筋コンクリート被覆による改良を行うものである。当該岸壁は、老朽化により利用停止となっていたことから、岸壁利用者から早期復旧の要望を受けていた。</p> <p>本工事は施工期間の制約を受ける工事であるが、改良に先立ち岸壁前面の支障物撤去を行う必要が生じたことから、厳格な工程管理が求められる状況であった。受注者は鉄筋組立の一体化や関係者との綿密な調整により作業ヤードの拡張と作業の効率化をはかることにより、施工の円滑化に努めた。</p> <p>また、水中での溶接作業については、専用治具を製作し潜水作業の効率化と精度向上及び安全の確保に努めた。水中コンクリート打設については、打設状況を可視化するため独自のセンサーを使用し、施工の確実性と精度の向上をはかった。さらに、海域における濁り発生防止対策を行うなど関係者に配慮した施工を行った。</p> <p>工事全般について、港湾管理者、岸壁利用者及び漁業関係者と細部にわたる調整を行い、無事故で工期内に工事を完成させることができた。</p>		
表彰理由 【技術者】	本工事を施工するにあたり、漁業関係者との調整を速やかに行い、工程管理を着実に実施し、工程短縮・施工精度向上を行い、無事故にて工事を完了させた。		

ふりがな 会社名	さんようてくのまりんかぶしがいしや 三洋テクノマリン株式会社		
ふりがな 技術者名	よしかわ かつし 吉川 勝志	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	とうきょうわんあさばぞうせいかんきょうちようさ 東京湾浅場造成環境調査		
履行期限	(自) 平成29年5月8日 (至) 平成30年3月16日		
事務所名	千葉港湾事務所		
業務概要	千葉県富津市富津沖において浅場造成事業の効果を検証するために底質調査、底生生物調査、有用水産生物調査、水底状況調査を実施する。また、貧酸素水塊の影響に対する軽減効果を検証するために水質調査として溶存酸素量、流況の連続観測も実施した。		
表彰理由	<p>本業務は、過年度から実施されている建設発生土有効利用による浅場造成事業の事後モニタリング調査である。事業実施から、5年経過しており、周辺海域における環境変化及び環境改善効果の把握、浅場造成事業の効果を的確に把握し、評価する必要がある。</p> <p>受注者は造成された浅場の効果について、調査海域を覆砂完了範囲、既施工範囲、自然海底及び覆砂予定範囲に区分したうえで施工時期に着目した整理を行い、事業の効果を明確に示した。また、底生生物群集については、多変量解析手法を用いた解析を実施し、既往の知見に基づき事業効果を明らかにした。</p> <p>また、追加調査項目である底層の溶存酸素量の連続観測についても、適切な観測項目や観測層を計画したうえで機器設置系に工夫をこらし台風の接近時にも欠測無く観測を遂行した。観測結果についても夏季の貧酸素水塊の挙動について分かりやすく整理し、浅場造成事業の効果を示した。</p> <p>こうした、調査時期及び調査方法の的確な選定、関係機関・海域利用者との綿密な調整のうえで調査を実施することにより、浅場造成事業の効果を適確に検証するとともに、効果的・効率的な業務とりまとめを行うことができた。</p>		